



【会派 NEWS】 2020(令和2)年 7月 6日 おかげさまで…週刊 vol.50
【ご意見ご要望はお気軽に】 〒184-0012 小金井市中町3-26-15-301
T 090-3345-6929 F 042-381-5074 watanabedaizou@gmail.com
公式サイト daizou.org (Twitter、facebook には公式サイトからアクセスできます)

「こんなときに…」 怒る市民

西岡市長が市職員ボーナス引き上げ

西岡市長が、市職員ボーナスを 0.05 か月分引き上げ 4.65 か月分にする条例案を提出しました。

私は、新型コロナウイルスで市民生活が混乱し、顧客の激減や売り上げの大幅減少など、極めて甚大な被害が発生し始めている中、ただでさえ高額な市職員ボーナスを引き上げるべきではないと考え、「市職員ボーナスは引き上げず、年間 4.6 か月分に据え置く」との修正案を提出しました。

3月12日、総務企画委員会は、私が提出した修正案を、賛成5 反対2で可決しました。

しかし、3月24日の本会議で、私が提出した修正案は賛成10 反対13の僅差で否決され、市長提出の条例案が賛成13 反対10で「逆転可決」されました。このことにより、昨年度も、本年度も、年1200万円を超える人件費支出増という事態になりました。市民からは「こんなときに…」「いったん可決された修正案を踏み潰してまで引き上げるなんて…」「コロナ対策もまったく不十分なのに…」と批判や疑問の声が上がっています。

市民や議会に知らせず、こっそりと…

部課長手当、大幅引き上げ

人口類似市中、最高額に

3月24日、小金井市議会は「議会に一切知らせずに、特別調整額(部課長手当)を引き上げた西岡市長に抗議し、反省と適切な措置を求める決議」を賛成12 反対11で可決しました。同決議は、私が起草して他会派と共同で提出したものです。

西岡市長は、今年、特別調整額(市役所の部課長手当)を大幅に引き上げました。市民にも議会にも知らせず、こっそりと引き上げたのです。このことにより、部長手当も、課長手当も、多摩26市中で人口が類似する4市の中では最高額になりました。まさに、「税金の山分け」「大盤振る舞い」としかいいようがありません。

決議への賛否は以下の通りでした。

✕ ボーナスの引き上げに**反対**した議員
情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、市民カエル(片山)

○ ボーナスの引き上げに**賛成**した議員
みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、市民会議(斉藤)、ネット(田頭)、改革連合(篠原)、緑つながる(坂井)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。

○ 決議に**賛成**した議員
情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、こがおも(白井・水谷)、市民カエル(片山)

✕ 決議に**反対**した議員
みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、市民会議(斉藤)、ネット(田頭)、改革連合(篠原)、緑つながる(坂井)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。

なお、この件に関連して「部課長手当を市民や議会に知らせずに大幅に引き上げたことに抗議し、すみやかな是正を求める陳情書」が市民団体から提出されました。

陳情書は、①議会の議決を経ないで市長が勝手に部課長手当を決める方式を改め、議会の議決が必要となるよう制度改正を図ること、②このたびの部課長手当の大幅引き上げを是正し、額を引き下げること、を求める趣旨で、極めて常識的な内容でした。

しかし、市議会は、6月23日の本会議で、陳情書を賛成10反対13で不採択としました。

公務員給与は「給与条例主義」、つまり議会の議決により条例で定めることが原則です。それに、妥当性を欠くプロセスで引き上げたのですから、引き下げは当然です。引き下げれば、新型コロナウイルス対策のための財源を生み出すこともできるのです。陳情の不採択は著しく不当です。

陳情書への賛否は以下のとおりでした。

○ 陳情書に賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、市民カエル(片山)

✕ 陳情書に反対した議員

みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、共産党(板倉・水上・たゆ)、こがおも(白井・水谷)、市民会議(斉藤)、ネット(田頭)、改革連合(篠原)、緑つながる(坂井)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。

酬を20%カットする条例案が賛成18反対1退席4で可決されました。

市長、副市長、教育長も議会側の対応にならって7月分の給与を20%カットしました。本来でしたら、「議会がやるなら…」ではなく、自主的にカットしてほしかったと思います。

こういった措置で生み出した財源なども、このたび創設した「新型コロナウイルス感染症対策基金」に積んで、市民や事業者の支援に生かしていきたいと考えています。

なお、7月の議員報酬20%カット条例への賛否は以下のとおりでした。本来ですと、このような措置は全員賛成が望ましいと考えましたが、そうならなかったのは残念でした。

○ 議員報酬カットに賛成した議員

情報公開こがねい(渡辺大三)、自民党信頼(遠藤・湯沢・吹春・清水)、公明党(宮下・紀・渡辺ふき子・小林)、みらいのこがねい(鈴木・村山・岸田・沖浦)、こがおも(白井・水谷)、ネット(田頭)、市民カエル(片山)、緑つながる(坂井)

✕ 議員報酬カットに反対した議員 市民会議(斉藤)

△ 退席(棄権)した議員

共産党(板倉・水上・たゆ)、改革連合(篠原)

※五十嵐議長(自民党信頼)は採決に加わらない。
※「みらいのこがねい」は立憲民主党などで構成。

渡辺大三が原案を起草・・・

コロナ対策基金設置条例、可決

小金井市議会は、6月23日の本会議で、「新型コロナウイルス感染症対策基金設置条例」を賛成22退席1で可決しました(退席1は改革連合)。

同条例案は、私が必要性を訴えて原案を起草し、他会派と共同で提案したものです。

新型コロナウイルスの第二波、第三波の襲来も懸念される場所ですので、直接的な感染症対策はもとより、「いざ」という場合に備えて、市民や事業者の生活・営業を支える財源をきちんと用意しておきたいと考えました。

■ 議員報酬、市長等給与をカット

同日の本会議では、市議会議員の7月の議員報

渡辺大三略歴

1966年、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市、宮城県仙台市、山形県山形市を経て、9歳から小金井市在住。小金井市立本町小学校・小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部を卒業。株式会社河北新報社(仙台市)で新聞記者。衆議院議員秘書。26歳で小金井市議選初当選(以降7期連続当選)。

【現在】小金井市の地域政党「情報公開こがねい」共同代表。東京の地域政党「自由を守る会」幹事長。小金井市商工会参与。貫井北町商工振興会事務局長。中町親愛会相談役。中央大学学生会小金井支部副支部長。小金井北高等学校同窓会幹事長。

新型コロナウイルス問題の発生を踏まえ、平日毎朝実施していた駅前でのNEWS配布は、3月2日から7月5日までの間、一時休止させていただきました。感染症対策のための措置でした。ご理解のほどお願い申し上げます。